

令和 7 年中のサイバー犯罪の検挙と対策

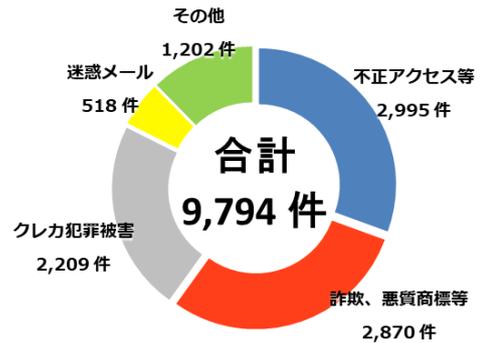
1 情勢

(1) インターネットバンキングに係る不正送金被害の認知件数は816件（前年比+470件）、被害額は約9億7,097万円（前年比+約3億9,301万円）であり、被害件数、被害総額ともに前年から大幅に増加した。



【インターネットバンキング不正送金被害認知件数推移(暫定値)】

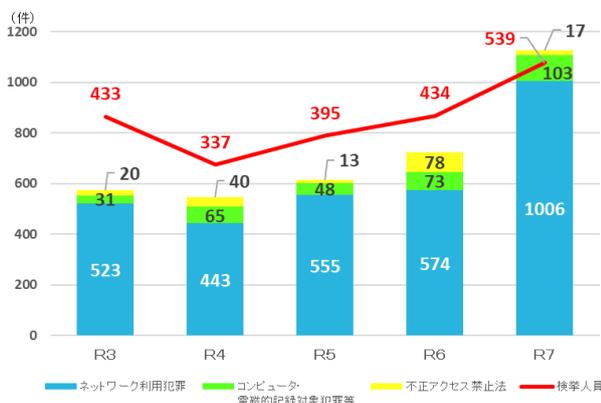
(2) サイバー犯罪に関連する相談についてはSNSやインターネットバンキングのアカウントに対する不正アクセス等に関するものが全体の約3割を占めた。



【サイバー犯罪関連相談件数(暫定値)】

2 サイバー犯罪の検挙状況

サイバー犯罪の検挙件数は1,126件（前年比+401件）、検挙人員は539人（前年比+105人）で、いずれも過去最多であった。



【検挙件数・検挙人員の推移(暫定値)】

被疑者			被害者		
年齢	検挙人員	構成比	年齢	被害人員	構成比
14歳～19歳	77人	14.3%	19歳以下	166人	25.1%
20代	171人	31.7%	20代	86人	13.0%
30代	107人	19.9%	30代	55人	8.3%
40代	94人	17.4%	40代	43人	6.5%
50代	55人	10.2%	50代	46人	7.0%
60代	25人	4.6%	60代	80人	12.1%
70歳以上	10人	1.9%	70歳以上	185人	28.0%

※被疑者、被害者いずれも構成比数値は少数第二位を四捨五入

【被疑者及び被害者の年齢構成(暫定値)】

(1) インターネットバンキング不正送金事案対策の推進

令和7年中におけるインターネットバンキング不正送金事案の急増を受け、被害が多発した県内金融機関に対する被害防止対策導入の要請や、県内金融機関等を対象とする情報共有会議を開催するなど、被害防止拡大対策を推進



【金融機関との情報共有会議】

(2) 産学官連携による若年層のネットリテラシー醸成等を目的とした諸対策の推進

- 児童・生徒のサイバーセキュリティに関する学習の理解の定着を図るための確認テスト（サイバーテスト）を作成し、同テストを活用したセキュリティ講演やキャンペーンを開催
- 高校生等の学生を対象に、ネットトラブル防止やネットリテラシー向上を目的とした体験型サイバーセキュリティ啓発イベント（SCSCサマーキャンプ2025）等を開催



【サイバーテストを活用した授業風景】

(3) 事業者に向けたセキュリティ対策の取組

ランサムウェア等のサイバー攻撃による被害拡大防止を目的に中小企業向けサイバーセキュリティ講演や、セキュリティインシデント発生時における対応訓練を実施



【中小企業向けサイバーセキュリティ講演】

(4) 事業者と連携した県民への情報発信

LINEヤフー株式会社と連携し、同社が提供するサービス（「Yahoo!くらし」等）によるサイバー犯罪に関する注意喚起情報の配信を行うなど、多様な媒体を利用した情報発信を実施



【Yahoo!防災速報アプリ】